

# 低圧FIT卒業電源の 廃止取次におけるNG理由の設定について

2019年12月19日  
電力広域的運営推進機関



## 【重要】低圧FIT卒業電源の廃止取次におけるNG理由の設定について（マニュアルより一部抜粋）

低圧FIT卒業電源のスイッチング廃止取次の判定で現小売電気事業者でNGとなった場合、下記**マニュアル記載の通りに設定しておらず**、廃止取次を申請した新小売電気事業者側で、**真のNG理由を確認するための業務負荷が高くなっている**とのご意見を頂いております。

例) **廃止年月日**が買取期間満了日以前の場合、**「07：システム対象外エラー」**を設定すべきところ、  
「03：廃止受付中エラー」や「99：その他エラー」を設定している。

**送配電事業者買取の受電地点特定番号**の場合、**「01：受電地点特定番号エラー」**を設定すべきところ、  
「07：システム対象外中エラー」や「99：その他エラー」を設定している。

### ＜廃止判断NG理由コード一覧＞ ※マニュアルより抜粋

コード	項目名	補足説明
01	受電地点特定番号エラー	現(旧)小売電気事業者の契約に該当する受電地点特定番号がない
02	契約番号不一致エラー	受電地点特定番号と現(旧)小売電気事業者の契約番号が不一致
03	廃止受付中エラー	既に廃止受付中でスイッチング受電廃止不可
04	名義不一致エラー	現(旧)小売電気事業者の名義と廃止取次の名義が相違
05	住所不一致エラー	現(旧)小売電気事業者の登録住所と廃止取次の住所が相違
06	廃止年月日エラー	廃止年月日が標準処理期間内または次回回検針日以降であり、スイッチング処理不能
07	システム対象外エラー	スイッチング支援システムの対象外電源または対象外期間である (廃止年月日がFIT買取期間中の場合含む)
99	その他エラー	システム障害など

上記補足説明に記載された理由に一致するものがなく、やむなく「99：その他エラー」他を設定する場合は考えられますが、それ以外の場合は**補足説明の通り、適正なNG理由を設定**いただけますようお願いいたします。

なお、現小売電気事業者での廃止取次の判断およびNG理由設定は、

- ①システム側で自動判断&設定
- ②オペレータが判断しWeb画面経由で手動設定

に大別されると想定しますが、各々以下のご対応をお願いいたします。

- ①システム側の判定条件を確認し、誤った条件でNG理由を設定している場合、条件を見直す
- ②上記の補足説明の通り判断・設定することを周知徹底する

※システム改修、運用の見直し等を伴うため、期限は設定できませんが可能な範囲で早期ご対応をお願いいたします。